

保護者向け児童発達支援評価表の集計結果（公表）

公表日：令和6年3月8日

保護者数17名、回収数13名 回答率

事業所名：あやばにハウス

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	0	0	0	身体を動かしたい児童に対しては外での活動を提案してくれている
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1	0	1	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	1	0	2	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	1	0	0	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	12	1	0	0	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	2	0	1	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	1	0	1	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	13	0	0	0	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	1	1	2	
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	0	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12	0	0	1	
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	9	0	0	4	

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができているか	12	1	0	0	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	2	0	0	いつも話してくださる内容がとても為になり有難いです。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	3	4	2	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	1	0	2	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	0	0	0	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	0	0	3	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	11	1	0	1	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	10	0	2	1	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1	3	5	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	11	2	0	0	祝日で休みの日も「あやばにに行く」と言い、お休みの連絡があったと伝えると残念そうにしていました。幼稚園の行事と重なる時は、本人に選択をまかせますが、あやばにさんを選んでいきます。自分のペースで好きなことができ、お話を聞いてもらえるのが嬉しいようです。安心できるひとつの居場所になっているんだと思います。
	23	事業所の支援に満足しているか	11	2	0	0	通所日を子どもが安心して、楽しみにしている様子が分かります。自宅に迎えに来てもらった時に自分から後ろの席に乗り、シートベルトをしようとしていたのが嬉しかったです。行き帰りのドライブも楽しいようです。活動報告も楽しみに読んでいます。子どもの良い所に向けてもらい感謝しています。また、明日は風を作りたいと話していた時に、風を作り遊んできた、と希望を叶えてもらい喜んでいました。すぐに対応していただきありがとうございます。どんな活動しようかなと考えているようです。今後ともよろしくお願ひします。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。